

Point 107

428 Neither my parents nor my brother () here.

□□□ ① is ② are not ③ is not ④ were not

〈摂南大〉

429 ① As far as I understand, either you ② or he ③ are to blame ④ for the accident.

□□□

〈福島大〉

430 You as well as I () in the wrong.

□□□ ① is ② was ③ am ④ are

〈摂南大〉

Point 108

431 Most of ① the people ② was gathering around the little girl ③ sleeping ④ on the bench.

□□□

〈早稲田大〉

Point 109

432 Most people do not know () beautiful rivers near my house.

□□□ ① there is ② there are ③ it is ④ they are

〈熊本県立大〉

433 There () a lot of snow in this area.

□□□ ① is ② are ③ has ④ have

〈駒澤大〉

428 両親も兄[弟]もここにいません。

429 私が理解しているかぎりでは、あなたか彼のどちらかがその事故の責任を負うべきである。

430 私だけでなくあなたも間違っている。

431 人々の大半が、ベンチの上で眠っている小さな女の子の周りに集まっていた。

432 私の家の近くにきれいな川があることをほとんどの人が知らない。

433 この地域には雪がたくさん降ります。

Point 107 相関的表現が主語の場合の動詞との一致

428 **neither A nor B** が主語—B に一致

標準

▶ neither A nor B はそれ自体否定の意味を持つ表現なので③ is not は不可。

429 **either A or B** が主語—B に一致

標準

430 **A as well as B** が主語—A に一致

標準

整理 39 相関的表現(→Point 089) が主語の場合の動詞との一致

- (1) 複数扱いするもの(A and B が主語の場合、一般に複数扱い)
 - ・ **both A and B** 「AもBも」
- (2) 原則としてBに一致させるもの
 - ・ **not A but B** 「AではなくB」
 - ・ **not only A but also B** 「AだけでなくBもまた」
 - ・ **either A or B** 「AかBかどちらか」(→429)
 - ・ **neither A nor B** 「AもBも…ない」(→428)
- (3) 原則としてAに一致させるもの
 - ・ **A as well as B** 「BだけでなくAも」(→430) = **not only B but also A**

Point 108 most of A 型の表現が主語の場合

431 **most of A** が主語—A に一致

標準

▶ 本問はAに the people が来ているが, **people** は「人々」の意味では複数扱いである。よって②は were gathering になる。▶ **プラス** people は、「民族・国民」の意味では **a people / two peoples** 「1つの民族 / 2つの民族」といった使い方をする。

整理 40

most of A 型の扱いをするもの

Aに動詞を一致させるものとして、以下の表現を押さえておこう。

分数+of A, **half of A** 「Aの半分」, **some of A** 「Aのいくらか」, **the rest of A** 「Aの残り」など

Point 109 「There+be 動詞+A」の構文の場合

432 **There+be 動詞+A—be 動詞**はAに一致

標準

▶ **There+be 動詞+A** 「Aがいる／ある」の構文では、Aが文の主語であるから、**be 動詞**はAに一致させる。

▶ 本問は現在形の文。Aは複数形の beautiful rivers なので、② there are が入る。

433 **There is**+単数名詞

標準

▶ a lot of snow は単数扱いの名詞なので、① is が入る。

Point 110

434 The number of the participants () much smaller than we
 had expected.

- ① has ② have ③ was ④ were

〈近畿大〉

435 Although a number of police officers ① was guarding the priceless
 ② treasures in the museum, the director worried that someone
 ③ would try to ④ steal them.

〈高崎経大〉

Point 111

436 Mathematics () a compulsory subject in American high
 schools.

- ① have ② are ③ is ④ has

〈北里大〉

437 The United Nations ① are going to send ② a relief party to that
 country, but some people ③ have begun a campaign ④ against it.

〈文教大〉

438 Five months () time to carry out the plan.

- ① are too a short ② are too short a
 ③ is too short a ④ is too a short

〈日本工大〉

434 参加者の人数は私たちが予想したよりもずっと少なかった。

435 その博物館では、とても高価な財宝をたくさんの警官が守っていたが、館長は、誰かがそれを盗もうとするのではないかと心配した。

436 数学は、アメリカの高等学校では必須科目である。

437 国連はその国に救援部隊を送ろうとしているが、それに反対する運動を始めた人々もいる。

438 5か月というのは、その計画を実行するのに短すぎる時間だ。

Point 110 ∴ the number of A / a number of A が主語の場合

- 434 **the number of A** 「Aの数」が主語—単数扱い 標準
 ▶ **the number of A** (Aは複数名詞) 「Aの数」は単数扱い。
- 435 **a number of A** 「多くのA」が主語—複数扱い 標準
 ▶ **a number of A** (Aは複数名詞) 「多くのA / いくらかのA」は、複数扱い。
 ① was を were にする。
 ▶ **a number of A** と **the number of A** の違いは用法・意味とも重要。正確に区別しておこう。

Point 111 ∴ 形は複数形でも単数扱いをする表現

【整理41】の内容を正確に確認すること。

- 436 **mathematics** 「数学」—単数扱い 標準
 ▶ 学問・学科名は、形は複数形でも、単数扱い。
- 437 **the United Nations** 「国際連合」—単数扱い 標準
 ▶ 団体名などは、形は複数形でも1つの事柄を指すので、単数扱い。
- 438 時間を表す語が主語—単数扱い 標準
 ▶ 時間・金額・距離・重量を表す語が主語の場合、形は複数形であっても単数扱い。
 ▶ too は「too+形容詞+a+名詞」の語順をとる(⇒475)。よって③ is too short a が入る。

+プラス 時間を表す複数形の語が主語で複数扱いになるのは、「時間+have passed since...」(⇒p.25【整理3】)の場合。例外として押さえる。

Five months *have passed since* he left the town.

(彼が町を去ってから5か月になる)

整理 41

形は複数形でも単数扱いをする表現

- (1) 学問・学科・ゲーム・病気などの名前(⇒436)
linguistics 「言語学」、**statistics** 「統計学」、**physics** 「物理学」、**economics** 「経済学」、**billiards** 「玉突き」、**measles** 「はしか」など
- (2) 国・団体・雑誌などの名前(⇒437)
the United States 「アメリカ合衆国」、**the United Nations** 「国際連合」、**the Times** 「タイムズ紙」など
- (3) 時間・金額・距離・重量などを表す語(⇒438)

Point 112

439 Anybody who ① travel to Japan ② by way of other parts of Asia
□□□ must feel ③ on arrival that he ④ has entered a semi-Western
environment. 〈愛知学院大〉

440 Most people ① trying to win ② others to their way of thinking
□□□ ③ does too much talking. It is better to let the other people ④ talk
themselves out. 〈中央大〉

- 439 アジアの他の地域を經由して日本に来た人は誰でも、到着するとすぐに、半西洋化した環境に入ったと感じるに違いない。
- 440 他人を自分の考え方に従わせようとする人の大半は、あまりにしゃべりすぎる。他人に彼らの考えを存分に話させるほうがよい。

Point 112 ； その他の注意すべき主語と動詞の一致

439 主格関係代名詞の後の動詞—先行詞に一致

標準

- ▶ 主格関係代名詞の後の動詞は先行詞に一致させる。
- ▶ 本問は、単数名詞の anybody が先行詞なので、① travel を travels にする。

440 修飾語句がある主語と動詞の一致

標準

- ▶ 主語に修飾語句がついている場合は、それを取り除いた中心語を見極め、その語に動詞を合わせればよい。
- ▶ 本問の場合は、trying ... of thinking の現在分詞句を除いて、中心語 (Most) people に動詞を合わせる。
- ▶ people は「人々」の意味では複数扱い(→431)なので、③ does は do でなくてはならない。